

## 平成二十二年度予算編成について

質問(益子岩夫議員) 平成二十二年度予算編成の基本方針について伺います。

答弁(市長) 厳しい財政状況の中でありますが、新市の将来像「住む人が輝き 来る人がやすらぐ 幸せ度の高いまち」の実現を目指して、「選択と集中」により、あすを担う子供たちの教育や市民の健康を守ることに特に配慮し、少子高齢化社会に対応した総合的な地域福祉政策の展開、市民生活に密着した生活関連社会資本の整備や産業振



車いす乗降用のスロープが設置されている市営バス

興、資源循環型社会の構築等の環境施策、景気対策や雇用の確保、合併に伴う地域間格差の解消等、将来を見据え諸課題に的確に対応してまいる所存であります。

平成二十二年度の予算編成に当たっては、新政権の予算編成の具体的な動向を注視しながら、新大田原市行政改革大綱に基づき、全職員一丸となつて行財政改革を積極的に推進し、徴収率の向上や公有地の販売等による財源の確保を図り、限られた財

## バリアフリー化の推進計画について

質問(小池利雄議員) 道路、公共施設、市営バスのバリアフリー化の推進計画について伺います。

答弁(市長) 今後のバリアフリー化計画ではありますが、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律及び栃木県ひとにやさしいまちづくり条例を基準に、より快適で利用しやすい公共施設整備に努めてまいりたいと考えております。

まず、道路整備の今後の計画であります。歩道を整備する源の重点的、効率的な配分に一層努め、高度化、多様化する住民ニーズに適切に対処いたします。

また、すべての施策について必要性や優先順位を十分に見極めることにより、スクラップ・アンド・ビルドに取り組み、事業の再構築を推進し、費用対効果を考えた節度ある予算とすることや経常的経費については、原則として当初予算額以下とし、特に物件費については、徹底した見直しを行い、経費の縮減に努めることなど八項目を骨子として定め予算編成作業を進めております。

新規路線につきましても、歩道と車道の段差を少なくするなど、交通弱者に優しい道路の整備に努めてまいります。

公共施設では、既存の建物については、スロープや手すりなどの設置を進め、新築施設については、スロープや多目的トイレなど、高齢者や障害者等に配慮した施設の整備に努めてまいります。

市営バスにつきましては、乗降時における高齢者や障害者の方々が少しでも負担を軽減でき

るように、積極的にワンステップバスを導入してまいります。また、車いす乗降用のスロープの設置はもとより、ステップの識別を容易に行えるようにしたり、手すりの設置を行うなどの工夫をし、バリアフリー化の推進を図ってまいりたいと考えております。

今後とも物理的な障害だけでなく、生理的な障壁、情報面や意識上の障壁を含む、すべての障壁を取り除かれた、人に優しい福祉のまち大田原市にふさわしいバリアフリー化の推進に邁進してまいります。

(※1の用語解説は11ページ)



公有地の販売を行っています

(※2の用語解説は11ページ)